

2019年1月25日
在日米国商工会議所

ACCJ 理事会、会頭にピーター・ジェニングスを任命 サシン・N・シャー第56代会頭の退任を受け

在日米国商工会議所（ACCJ）理事会は、2019年1月24日、会頭にダウ・ケミカル日本株式会社代表取締役社長であるピーター・ジェニングスを任命しました。現会頭のサシン・N・シャーは、AIG ジェネラル・インシュアランスにおけるアジア・パシフィックの最高経営責任者（CEO）就任に伴い ACCJ 会頭を退任します。ジェニングス新会頭の任期は、2019年2月1日からシャー現会頭の残任期間満了日である2019年12月31日までとなります。

また ACCJ 理事会は、現在副会頭を務めるジェニングスの後任として、2018年11月の選挙において副会頭の次点候補者であったエイミー・ジャクソンを、新たに副会頭に任命しました。ジャクソン新副会頭の任期は、ジェニングス現副会頭の残任期間満了日である2020年12月31日です。

シャー現会頭は次のように述べています。「ACCJ の指揮を取ることができた幸運に感謝しています。ACCJ には、会員とスタッフの多大な努力と献身によって築き上げられた豊かな歴史があります。ACCJ の明確な目的意識、多様なコミュニティ、そして商業的なフォーカスは誇るべき特質であり、他の商工会議所の間でも一つの指標となっています。ジェニングス氏が ACCJ の課題達成への取組みを推進し、ACCJ を日本における米国ビジネスおよび国際ビジネス界の声を代表する存在として、これまで以上に認識される組織へと導いてくれると確信しています」

ジェニングス新会頭は「ACCJ のリーダーシップが円滑かつ早期に継承されることは、ACCJ の戦略や、現在組織全体として取り組んでいる重要な案件の継続性を明確に示すものです。日米二国間の貿易交渉の開始、G20、ラグビーワールドカップ、その他多くの重要な出来事が予定されている2019年はまさに、世界の最も重要な二国間パートナーシップのさらなる強化に ACCJ がより深く貢献できる好機です」と述べました。

以上

###

1902 J

—在日米国商工会議所について—

在日米国商工会議所（ACCJ）は、米国企業 40 社により 1948 年に設立された日本で最大の外国経済団体の一つです。米国企業の日本における経営者を中心に、現在は 1000 社以上を代表する会員で構成され、東京、名古屋、大阪に事務所を置いています。日米両国政府や経済団体等との協力関係のもと、「日米の経済関係の更なる進展、米国企

業および会員活動の支援、そして、「日本における国際的なビジネス環境の強化」というミッションの実現に向けた活動を展開しています。また、60以上の業界・分野別委員会を中心に活動を行い、意見書やパブリック・コメント、白書等を通じた政策提言や、政策や経済の動向等について年間およそ500のイベントやセミナーを開催するとともに、各種チャリティー等の企業の社会的責任（CSR）活動にも積極的に取り組んでいます。

【お問い合わせ】

本件に関するお問い合わせは、在日米商工会議所 広報部（電話：080-4124-7460；メール：comms@accj.or.jp）までお願いいたします。